

試験：2026年度 夏期試験

課程：博士課程前期2年の課程

選抜：一般選抜

試験科目：外国語試験（ドイツ語）

#### 出題意図

1. ドイツ語における外来語について説明された論説文を読む問題である。現代においては英語からの外来語が多いが、かつてはフランス語から多くの単語がドイツ語に入ったことや、英語からの外来語も、そのもとはラテン語であり、もともとなる英語の単語自体が他国語であることなどを理解することを求める。単にドイツ語の文章読解能力だけではなく、外来語一般の性質についての知識も同時に問う問題である。

2. ルーマニアの作家フランツ・ハインツの物語文を読む問題である。難しい単語はあまり使われておらず、文構造についても副文は少なく、複雑な文はない。場面描写では3人称主語の過去形が使われており、文法的知識を多少要する。多く現れる会話文では主語が1人称および2人称の現在形の文が多く、ドイツ語の会話文に慣れていることが求められるが、読み解くのは比較的容易である。